

平成27年度政策討論会第三分科会要点記録

日時 平成27年2月15日

場所 第1委員会室

会議時間 15:00～16:00

出席者 副座長 反甫 旭
池内 矢一
池田 啓子
河合 馨
岸田 厚
京西 且哲
耒原 佳一
友永 修
鳥居 宏次 (五十音順)

発言要旨 (順不同)

まとめ方について

- ・発言要旨の内容で良いと思います。広報のやり方として、インターネットツールを効率的に利用し発信するべきだと思います。また、委員からの意見で大学へのアプローチ、セールス活動を充実させるべきとの内容にも賛成します。具体的な窓口などは、プロジェクトチームを発足するなど、横断的な係が必要と考える。若手職員の斬新かつ柔軟な発想をより多く取り入れ、また、それをサポートする管理職の意識変革も必要でないかと考えます。
- ・インターンシップの考え方、方法についていろんな意見が出ている。私たちがここで、ひとつの形にまとめるのではなく、出されている4つの項目について、こういうことが考えられるというまとめでいいのではないかと。4つに加え、これまで議論してきたインターンシップの意義・目的をまとめに加えてはどうか。若手職員が自分の感じる岸和田市行政の魅力を直接、大学へ売り込みに行くなど。
- ・過去の要点記録でも重複している部分も多いので、まとめにむけてそのあたりを精査する必要があるのではないかと。

主旨について

- ・市役所の業務の理解、市政への関心、若者の視点による市政への提言に期待する。

広報・PRについて

- ・インターンシップの学生を受け入れるためには、他市との違いを強調することが必要だと思う。しかし、何をアピールするかは難しい。イベント型や専門型になりがちで、本来の意味での公務労働を体験することができない。この差をどのように埋めるかが問われる。
- また、さまざまなメディア媒体はあるものの、大学への広報活動が一番である。

平成２７年度政策討論会第三分科会要点記録

- ・ホームページ、広報きしわだへの掲載とテレビ岸和田など様々な媒体を活用すること。
- ・政策企画課とも連携し、庁内に発信できるようにすればいいのではないか。
- ・テレビ岸和田などと連携し、参加したインターンシップ生に番組出演してもらおうというのも検討してみてもどうか。

担当・受入体制について

- ・市長直轄の市長公室にチーム又は係を設置すること。

手続きについて

- ・募集要項、実施要項、エントリーシート、大学及び学生と交わす書面を統一すること。

採用との結びつき・民間との連携について

- ・市が行うインターンシップのやり方には、行政だけの受け入れと市内業者のインターンシップの受け入れの窓口として役割を担う市もある。市の若者の定着を考えると、市内の企業が大学へのインターンシップの受け入れ手続きなど手間のかかる部分を行政が窓口となることで、解決できることもある。どうするかは、行政の考え方次第。
- ・若者の定着に向けた活用も検討すること。

次回にむけて

副座長が次回までにまとめ案を作成し、それについて議論する。